

月間400本の現地発ミャンマー情報・ビジネスニュース配信サービス <http://myanmar-express.com/>


MYANMAR EXPRESS ミャンマーエクスプレス

発行：株式会社ココライズ・ジャパン 東京都新宿区百人町3-10-7 Tel: 03-6869-8227

<ミャンマーオフィス> KOKORIZE Myanmar Co., Ltd.

5-B, Riverside Residence, 456/458 Corner of Lanmadaw Road & Strand Road (Kannar Road), Latha Township, Yangon, Myanmar Tel: +95 9 7781 75910 Email: myanmar-express@kokorize.com

2018年7月6日 第799号


TOP NEWS

ヤンゴン証券取引所 外国人の株取引が可能に

ヤンゴン証券取引所(YSX)は、まもなく外国人投資家の取引が可能になることを明らかにした。

8月に施行される新会社法により、外国資本比率 35%までの企業が国内企業と認められるため、上場企業の発行済み株式の 35%を上限として外国人投資家の株取引を認める方針だという。テットウンウー上級マネージャーは「どのような外国人に取引を許可するかは議論中だが、まずは国内に居住する外国人を対象に検討している。その後、非居住外国人も許可の対象とする予定だ」と説明した。YSX、ミャンマー証券取引監督委員会(SECM)、上場企業および証券会社が必要な法律や規則を整備するための協議を進めている。

YSXに上場するFMIのトゥントウン執行責任者は「必要な資金を外国人投資家から調達するため、新会社法が望まれる。FMIも海外からの資金調達を期待している。YSXの取引額も増加するだろう」とコメントした。現在、YSX上場株式は下げ止まりを見せている。これまでにFMI、MTSH、ミャンマー市民銀行(MCB)、第一プライベート銀行(FPB)、TMHの5社が上場しているほか、ミャンマー・アグ
(次ページへ続く)



Growth
Car Hire

①(運転手付きレンタカー)

📍 www.growth.bz

☎ +95-(0)92-6116-6805


選ばれて、実績No.1

短期も長期も安心!

Growth Growth.Myanmar Co.,Ltd.
No.1208, 12FL Sakura Tower 339,Bogyoke Aung San Rd,Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar. (移転致しました)

ロ・エクスチェンジ(MAEX)、物流の E.F.R、水力発電事業のグレート・ホーカム、ミャンマー農業ビジネス公社(MAPCO)が上場準備を進めている。

(7月4日発行/The Voice 上の記事を再編集)



SAGA国際法律事務所
●会社設立 ●契約書作成 ●紛争解決 ●法令調査
経験豊富な日本人弁護士とミャンマー人弁護士が常駐。

ミャンマー法令データベース(MLDB)を開始しました!
1948年以上の法律を網羅的に収録。ビジネス関連の法律の英訳掲載、法令ニュースレターの送付。
詳細は以下のHPより!

MLDB HP: <http://www.myanmarlawdb.com/>
代表弁護士: 堤 雄史 Email: yujit@sagaasialaw.com HP: <http://www.sagaasialaw.com/>

◆本日の目次

- 【金融】ヤンゴン証券取引所－外国人の株取引が可能に

- 【経済】トヨタの新モデル、ミャンマーで発売
- 【経済】韓緬工業団地プロジェクト、用地確保に向け調整へ
- 【経済】外国投資、予想額未達の見込み
- 【経済】ヨマグループ、不動産開発事業のため新会社設立
- 【経済】ティラワ港にコンテナヤードを設置
- 【経済】中国企業経営者らがミャンマーを訪問

- 【金融】ミャンマー経済銀行、モバイルサービス提供

- 【社会】ヤンゴン動物園にジップライン設置を申し入れ
- 【社会】建設業協会事務所、住宅注文ワンストップサービス開始へ
- 【社会】石油・天然ガスの炭鉱・採掘・生産、地場企業を募集
- 【社会】世界銀行の副総裁が来緬へ、ラカイン州支援

- 【交通】ヤンゴン管区内のバス停を近代化へ

- 【農業】香港の試飲会でオーガニックコーヒー豆が高評価

- 【インフラ】ティラワ経済特区に新港設置へー日緬が協議

- 【労働】シンガポールで就職フェア開催へ

- 【通信】違法に敷設されたファイバーケーブルを除去へ

- 【観光】バガン入城チケット、来年から写真付きに変更

MVC 会計事務所

☎ 09 970 729305 (日本語/English) , 09 259 568858 (English/Myanmar)

5th FloorB (Backward Bldg), No.75C, BoYarNyunt Street, Dagon Township, Yangon

(CVC 会計グループ)



MVC 会計事務所
代表
中山 さやか
(米国公認会計士)

ミャンマーと日本で
ワンストップ対応可能、
日本人有資格者が運営しています




CVC 会計



CVC 会計グループ
東京本社 代表
天野 正康
(公認会計士/税理士)



【経済】MYANMAR Express

【経済】トヨタの新モデル、ミャンマーで発売

トヨタ自動車は、6月26日に新型「ラッシュ」の発売を開始した。

同社は28日にミャンマープラザ、29日～7月1日にはジャンクションスクエアでプロモーションイベントを開催した。

2018年モデルの同車は1,500cc、7人乗りで、VVT-1エンジンを使用。低燃費で排気量が少なく、環境に優しい。6色あり、販売価格は白色2万8,500ドル(=約316万円)、他の色は2万8,800ドル(=約319万円)。メーカー保証は3年間または走行距離10万キロとなっている。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

【経済】韓緬工業団地プロジェクト、用地確保に向け調整へ

10億ドル(=約1,100億円)規模となる韓国・ミャンマー都市工業団地プロジェクト(KMIC)実行にあたり、管区政府と用地確保に向けた調整を行っていることが明らかになった。ミャンマー投資委員会(MIC)の担当者は「土地の取得について管区政府と進めているようだ。MICへの申請はまだされていない」とコメントした。

KMICはヤンゴン管区レーグー郡区に予定されており、工業エリア、職業学校、住宅・商業施設、研究・開発センターなどが含まれる。6月15日には韓国大使や韓国民間企業とヤンゴン管区首相が面会しており、共同事業会社を設立して来年中頃に造成工事を始めるという情報もある。韓国はミャンマーにおける国別外国投資で6番目に位置するなど投資意欲が高く、今年は製造分野への進出を進めるという。

<p>人材紹介なら DREAM JOB MYANMAR にお任せ下さい!</p>		
<p>Point 1 日系No1の圧倒的な人材バンク!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイト登録者数、3万4千名以上。 ・ Facebook「Like」数、60万以上。 	<p>Point 2 任せて安心!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府公認の紹介会社です! (License No.:2901/2013-2014) 	
<p>Point 3 強力な自社メディアを運営!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマホ・アプリもリリース。 ・ ターゲットに的確にアプローチします。 	<p>Point 4 日本人が対応!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人担当者が日本語で対応。 ・ 泥臭く、丁寧に対応します。 	
<p>Dream Job Myanmar Ltd. Tel: +95 99 7635 1920 Email: info@dreamjobmyanmar.com No.162, Room(7/B), 7 Floor, Sanchaung Street, Yangon</p>		

無断複製・転載禁止
掲載されている情報、データなどの著作権は弊社に帰属します。有償、無償を問わず他人への譲渡、複製の作成を禁じます。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

【経済】外国投資、予想額未達の見込み

投資企業管理局は、今年度上半期の外国投資予想額は 30 億米ドル(=約 3,319 億円)であったが、達成は難しいという見込みを明らかにした。

同局のアウンナインウー局長は「当初は6カ月で 30 億ドルの予想であったが、3カ月経った時点で 5億ドル(=約 553 億円)しかなかった。もっと努力しないといけない状態だ。あと3カ月以内に 25 億ドル(=約 2,766 億円)は難しい。しかし、他の省で実施している様々なプロジェクトが完成すれば、十数億ドルは取得可能だと思う」と語った。

また、同局長は「ラカイン州問題の影響で、ヨーロッパ諸国が投資を見送っている状態が続いている」と話した。

同局は 2018 年4月から9月までの6カ月間で、新規外国投資案件 25 件を認可した。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

【経済】ヨマグループ、不動産開発事業のため新会社設立

ミャンマーの大手複合企業ヨマ・ストラテジック・ホールディングス(Yoma)とファースト・ミャンマー・インベストメント(FMI)は、不動産開発事業のためヨマ・ランド社を設立し、低価格住宅も建設する計画を明らかにした。

ヨマ・ランド社はパンライン複合住宅、スターシティ、ヨマ・セントラルを運営し、ミャンマー不動産分野の発展に貢献する。今まで高級住宅事業が多かったが、今後は適正価格住宅、低価格住宅も建

MYANMAR EXPRESS

ミャンマー・エクスプレス 広告募集中!

ミャンマー情報配信といえば
『ミャンマー・エクスプレス』

配信先 日系企業約100社

週3回配信(月間配信数 約12回)

1/8~1/2サイズまで。

お気軽にお問い合わせください!

myanmar-express@kokoriz.com

+95(0)9 7781 75910

<http://myanmar-express.com/>

設し国民の住宅所有率を上げる。今年中に適正価格住宅事業の公開を予定している。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

【経済】ティラワ港にコンテナヤードを設置

ミャンマー港湾公社(MPA)は、日本のODAで埠頭等の建設が進められているティラワ港の25・26区画に、貨物を保管できるコンテナヤードを設置することを明らかにした。

MPA 所有の同区画では、日本のODAで2016年6月から埠頭の建設が進められている。埠頭は今年12月に完成し、2019年初旬に稼働開始予定だという。

MPAは同区画における建設事業のため、2015年に公開入札を実施。東洋建設とJFEエンジニアリングが共同で受注し、2015年12月に覚書を締結した。

(7月3日発行/The Daily Eleven 上の記事を再編集)

【経済】中国企業経営者らがミャンマーを訪問

6月30日から7月3日まで、山東省徳州市のチェンフェイ市長率いる経営者チームがミャンマーを訪問した。7月2日には、ヤンゴン市のパン・パシフィックホテルにて、徳州・ミャンマー経済会議及び投資セミナーを開催した。

同チームには、食品、家庭用装飾品、機械、電気、農業機械、環境保護製品、薬品などを製造する企業の経営者らが参加した。

徳州国際商会のリリヤンジュン会長は「ミャンマーを3日間訪問した。特に、エネルギー、農業、工業分野を中心に視察した。投資にも興味を持っており、協力して行く」と話した。

中国・ミャンマーの貿易額は、2016年度:ミャンマーからの輸出額45億9,600万米ドル(=約5,083億円)、輸入額63億9,500万ドル(=約7,072億円)、2017年度:輸出額50億5,500万ドル(=約5,590億円)、輸入額57億4,900万ドル(=約6,358億円)であった。

(7月3日発行/The Voice 上の記事を再編集)

**【金融】MYANMAR Express****【金融】ミャンマー経済銀行、モバイルサービス提供**

ミャンマー経済銀行(MEB)は、MPT、MecTel、Mytel 利用者を対象にモバイル金融サービスを提供しており、今後他の通信会社利用者にもサービスを提供していく方針を明らかにした。

同行は最新の技術を用い、預金、電話料金の支払い、企業間の資金決済(B2B 決済)、年金の受け取りなどのサービスを提供しているという。

同3社以外の SIM カード所有者にも同様にサービス提供できることを目指し、ウェブマネーや OK Dollar とも協力していくという。

(7月4日発行/The Daily Eleven 上の記事を再編集)

**【社会】MYANMAR Express****【社会】ヤンゴン動物園にジップライン設置を申し入れ**

ツアーグループがヤンゴン動物園におけるジップラインの設置をヤンゴン管区政府へ申し入れていることが明らかになった。

同管区政府担当者は「首相からは良い案だとのコメントがあったが、許可を出すかどうかはまだわからない。EIA や SIA などの調査、ミャンマー投資委員会の認可などが必要となるだろう。土壌調査は実施済みで、シンガポール企業との共同事業になるようだ」と述べた。シンガポール企業の技術支援を受け、全長 158.44 メートル、高さ 22.2 フィート(=約 6.77 メートル)のジップラインを建設予定だという。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

【社会】建設業協会事務所、住宅注文ワンストップサービス開始へ

建設業協会は、同協会事務所に窓口を設置して建設関連の様々な要望に対してワンストップサービスでできるように尽力すると明らかにした。

同協会のシェインウィン会長は「協会にはエンジニア、建設業者、開発業者がいる。大工の集団や建材業者もいる。家を1軒建てたいならば、ここへ来れば手続きが一度で済む。4月28日には、初めて会員を同事務所に招き会食を行った。今後は月に1度会食を行う予定だ。ワンストップサービスによる計画はすでにたくさん始まっているので、皆で足並みを揃えて協力する」と話した。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

【社会】石油・天然ガスの炭鉱・採掘・生産、地場企業を募集

電力・エネルギー省は、石油・天然ガスの炭鉱・採掘・生産事業を外国企業と共同出資で行うことに興味がある地場企業を募集すると発表した。

今回の募集は同事業に関する技術や経験、投資により利益を得ることを目的としている。地場企業は同省から募集要項や応募方法などを得ることができる。

沿岸での石油・天然ガスの炭鉱は2014年から始まり、今後生産・出荷を行っていくという。

(7月4日発行/The Daily Eleven 上の記事を再編集)

【社会】世界銀行の副総裁が来緬へ、ラカイン州支援

世界銀行の副総裁が、ラカイン州の紛争地域の支援計画をミャンマー政府と協議するため7月7日にミャンマーを訪問する。世界銀行のミャンマー支店広報担当者が明らかにした。

世界銀行は現在、20億米ドル(=約2,200億円)以上を拠出し、2015年から5年計画で政府に低金利の融資や教育・保健・電力分野での支援を行っているが、2019年から3年・5年計画を新たに開始予定で、今後はラカイン州の民族を超えた発展事業を優先させるという。

7月1日に世界銀行総裁と国連事務総長がバングラデシュの難民キャンプを訪れた際に、同行総裁が支援を打ち切る旨の発言をしたと現地メディアが伝えていたが、同広報担当者はこれを否定した。

(7月4日発行/7Day Daily 上の記事を再編集)

**【交通】** MYANMAR Express**【交通】ヤンゴン管区内のバス停を近代化へ**

ヤンゴン市開発委員会、フランス企業、ミャンマー企業の合併会社である FMI Decaux 社は、同管区内のバス停留所 500 カ所を近代化する計画を明らかにした。

同計画は6月末に開始し、18カ月以内に完了予定。建設費として1,300万米ドル(=約14億4,000万円)が利用される。同社は同計画のため、20年間の営業を許可されており、バス停留所の管理や清掃などを行う。

ヤンゴン管区内には2,000カ所のバス停留所が必要となっており、第1段階として500カ所が外国投資により近代化され、残りはヤンゴン市開発委員会が実施していく予定。新たなバス停留所には、USBポートやバスの到着時間を掲示するシステムなどが設置されるという。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

**【農業】** MYANMAR Express**【農業】香港の試飲会でオーガニックコーヒー豆が高評価**

6月27日に香港で開催された試飲会で、ミャンマーのオーガニックコーヒー豆が2番目に評価されたと Genius Shan Highland Coffee のマネージングディレクターが話した。

同試飲会は Genius Shan Highland Coffee と Coffee Pro の協賛で開催され、ミャンマーのオーガニックコーヒー豆は2番目となる85点を獲得した。審査員たちは、ミャンマーのコーヒー豆の品質が向上したと高く評価した。

同氏は「香港の顧客にも好感触で、香港での市場拡大が期待される。生産量拡大のため国内で最大のコーヒー農園としてシャン州南部のユワーガン群カゼ村でアラビカ種を80万本ほど栽培する」と話した。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

**【インフラ】MYANMAR Express**

【インフラ】テイラワ経済特区に新港設置へ一日緬が協議

テイラワ港湾公社所有のテイラワ経済特区(SEZ)の第24地区に新港を設置するため、日本から政府開発援助(ODA)を受けるため、日本と協議していることが分かった。

現在同SEZの第25、26地区番地にも日本のODAで港が建設されており、2018年12月に建設完了、2019年には開港可能になる予定。将来的に100万TEUまで物流可能になるよう拡大すると、運輸通信省のタンシンマウン連邦大臣が明らかにしている。

2016年から同SEZ開発に向け日本が援助した236億8,000万円を利用して、港やその他の開発事業が実施されている。

(7月2日発行/Weekly Eleven 上の記事を再編集)

**【労働】MYANMAR Express**

【労働】シンガポールで就職フェア開催へ

国外で働くミャンマー人労働者が帰国して国内で就職し、国の経済発展に貢献できるよう促すため、7月14日～15日にシンガポールのラッフルズシティ・コンベンションセンターで就職フェアが開催される。

求人情報サイト JobNet.com.mm が、シンガポールで働くミャンマー人を対象に同フェアを開催。工業、運営、人材管理、経理、エンジニア、情報技術、市場管理、広報、販売専門職などの求人を紹介するという。

同フェアには、協同組合銀行(CB)、キャピタル・ダイヤモンド・スター・グループ(CDSG)、ミャンマー郵電公社(MPT)、ミャンマーネット、MPRL、RMA、オーウェイなど20社が参加し、求人活動を行う。参加申し込みは JobNet.com.mm で受け付けている。

(7月4日発行/Myanmar Times 上の記事を再編集)

**【通信】** MYANMAR Express**【通信】違法に敷設されたファイバーケーブルを除去へ**

MPT 所有の電波塔を利用し、違法に敷設されたファイバーケーブルを除去する作業を今月2日から開始したと、同社の代表者が発表した。違法に同社所有の電波塔を利用した関連企業に対し、同社は国営新聞で警告したという。

警告にもかかわらず、関連企業からの連絡がないため、法律通りに処置すると MPT は発表。現在、同社と協力している通信企業は 20 社程度ある。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)

**【観光】** MYANMAR Express**【観光】バガン入域チケット、来年から写真付きに変更**

外国人旅行者が不正に売買されたチケットで入域することを防止するため、来年から入域チケットを写真で登録する制度にしていくことを、ミャンマー観光連盟チーテインコー代表が6月30日に発表した。

外国人旅行者による入域チケットの売買が多発したため、宗教・文化省考古・国立博物館局が、7月1日からチケットの有効期間を現在の5日間から3日間へ変更すること承認した。ミャンマー観光連盟の5年間の調査によると、3日以上バガンに滞在する外国人旅行者は少ないため問題ないという。

ラカイン州問題により、バガンへの外国人旅行者が若干減少した為、一人当たりの入域料は現在2万5,000チャット(=約1,960円)となっている。

(7月5日発行/Pyi Myanmar 上の記事を再編集)